



全国地域安全運動の実施

街頭犯罪の防止や詐欺電話被害防止を呼びかける全国地域安全運動が平成27年10月11日(日)～10月20日(火)の間実施されます。

全国的・岐阜県下には刑法犯の認知件数は減少傾向にあります。大垣警察署管内では、身内を名乗る者からのオレオレ詐欺・融資会社をかたる融資保証金詐欺・メールによる架空請求詐欺などが激増しています。

大垣警察署では詐欺電話の被害防止のために、犯人は自分の声を録音されることを嫌いますし、犯人と話さなくてもよい

☆在宅中でも・いつでも留守番電話にしておくことを、勧めています。

また、銀行など金融機関と協力し、高額な金額の引出に注意をうながし詐欺被害の未然防止を実施していますので、ご協力をお願いします。



「だいあん心・高齢者いきいき作戦」実施中!

大垣警察署管内では平成27年8月末現在13人の方が交通事故によりお亡くなりになっており、これは昨年同期より7人増加する非常事態です。

死者13人の内8人が高齢者の方であり、死者13人の内6人の方が自転車または歩行者のいわゆる交通弱者です。

大垣警察署はこのような情勢の中☆「だいあん心・高齢者いきいき作戦」として、高齢者の方々に警察官が会合などに参加して講話を実施しています。

☆交通監視活動を通じ、自転車利用者の交通ルール遵守指導などを強力に実施しています。



セルフスタンドでの給油時における注意事項

最近、多くの給油所でみられるようになったセルフスタンドですが、自分で給油するにあたって注意しなければならない点があります。

もし、誤った使用方法をすると重大な事故に繋がる可能性があるので十分に気をつけて使用して下さい。

給油中の火災に注意

ガソリンはとても引火しやすいので、取扱いには注意が必要です。ラ

イターなどの火のほか、静電気や衝撃の火花によっても引火します。

給油中の火災を起こさないために、以下の注意点を守ってください。

1. 車のエンジンをかけたまま給油しない。
2. 給油中にライター、タバコなど火気を使用しない。
3. 給油中にその場を離れない。
4. 給油する前に計量器に設置してある静電気除去シートなどに触って自分の静電気を確実に除去する。
5. 給油ノズルを給油口の奥まで差し込み、注ぎ足しをしない。給油口の浅いスクーターなど奥まで入らない車種は、あふれないように少しずつゆっくり給油する。
6. 給油後、給油ノズルを計量器に戻すときは、給油レバーを握らない。

もしもの場合は

1. 給油口から炎が出た場合

給油ノズルをそのままにして、係員を呼びましょう。(給油ノズルを引き抜くと、こぼれたガソリンに引火して拡大する場合があります。)

2. 誤って給油口から給油ノズルが抜けた場合

給油レバーをすぐに引くのをやめて、給油ノズルを計量機に戻し係員を呼びましょう。(給油レバーを引いたままだと供給が止まらず大量ガソリンが周囲にこぼれてしまい、大変危険な状態になります。)

3. 吹きこぼれた場合

給油ノズルをそのままにして係員を呼びましょう。



▲給油前には必ず静電気の除去を